

報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

田原市	所属議員	赤尾昌昭 平松昭徳
-----	------	-----------

産業目線

目線区分	産業目線	
取り組み項目	④産業道路環境	
テーマ	○浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現 ○国道23号バイパスの全線開通及び4車線化の早期実現 ○国道259号線豊橋・田原市境区間の整備	
前回まで 取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 広域幹線道路について、田原臨海企業懇話会と連携「国土交通省中部地方整備局」「愛知県」等と意見交換会の実施。 	
今回 組織内議員の 具体的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●「田原臨海企業懇話会」総会の際行われた意見交換会で事業の進捗について確認 ○浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現に向けた取り組み状況は <ul style="list-style-type: none"> ・6月中旬にルート案を示す予定（6月24日3案を公表） <ul style="list-style-type: none"> ①最短距離「西側ルート（約26km）」豊橋市街地と二川市街地の中間を通過 ②静岡県湖西市新所原の東側を通る「東側ルート（約29km）」 ③国道23号を一部拡幅する「国道23号拡幅ルート（約31km）」 ～関係自治体・各種団体へのヒヤリング、市民アンケートを経て絞り込みを実施。 ○国道23号バイパスの全線開通及び4車線化の早期実現 <ul style="list-style-type: none"> ・大崎IC～野依IC間の拡幅工事を本年度から実施。まず大崎IC付近の側道の付け替えから実施。 ○国道259号線豊橋・田原市境区間の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国道259号及び豊橋市明海地区の渋滞回避のため豊橋地内（老津～大崎IC）の2車線化を本年度から実施。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・田原市の経済団体による「渥美半島道路期成経済連合会」が6月24日設立。今後の道路行政について連携を働きかける。 	
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き各路線の進捗確認を実施。浜松三ヶ日・豊橋道路については市民にもPR。ルート案策定に向けアンケートへの積極的な回答を働きかける 	



浜松三ヶ日・豊橋道路ルート案

報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

田原市	所属議員	赤尾昌昭 平松昭徳
-----	------	-----------

組合員目線

目線区分	組合員目線		
取り組み項目	① 交通安全 ⑤子育て・教育		
テーマ	○交通事故対策 ○早朝・祝祭日保育の充実 ○子育て包括支援センターの設置実現 ○小学校での英語、キャリア教育等教育内容の変化への対応 ○学校統廃合への対応		
前回まで 取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により、様々な事業が制約を受ける中、一般質問、各委員会、予算決算委員会の場で、子育て支援、学校環境の充実等の提言をおこなった。 		
今回 組織内議員の 具体的取り組み	<p>●テーマに対する市の取組みと事業の進捗状況。</p> <p>○交通事故対策・・・高齢者ドライバーの交通安全確保 アクスル・ブレーキの踏み間違い事故防止のため、サポカー又は後付け安全装置の購入支援を実施。</p> <p>○早朝・祝祭日保育の充実・・・祝祭日保育に関しては野田保育園で継続実施。保育の充実として要望していた「病後児保育室」が開設された。</p> <p>○子育て包括支援センターの設置実現・・・新型コロナウイルス感染防止により休止していたが、キッズサロン（1～3歳の親子が参加できる）ママ同士の交流や子育て世代同士の情報交換の場）は、毎月1回開催。</p> <p>○小学校での英語、キャリア教育等教育環境の変化への対応 コロナ禍により、国のG I G Aスクール構想が加速されたことに伴い、校内の通信環境の整備の推進。 (学校内に高速大容量通信ネットワークを整備)</p>		
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き各テーマに対する課題等を把握し、その都度、現状をしっかり調査したうえで要望や対応策について提言を進めていく。 		

【図や活動の様子が分かる写真など】

○コロナウイルス感染症への対応や生活支援等を含めた子ども・子育て支援（本市独自の事業）

・国からは、「市民一人当たり10万円の特別定額給付金が支給された」が、基準日後～来年3月末までに出生した子どもに対して、市内で使用できる10万円の商品券を交付。



【商品券（10万円分）】

・妊娠婦・乳児への消毒薬等の配布
(除菌シート、ハンドジェル、フェイスガード等)

○小中学校の教育環境変化への対応

・すべての児童生徒一人一台のタブレット端末を、本年12月の設置を目指している。